

Black Orchid

黒い蘭—ブラック・オーキッド—が開花中

【筑波実験植物園】

「黒い蘭“ブラック・オーキッド(Black Orchid)”」という言葉にはミステリアスな響きがあるのか、小説、音楽、映画、香水まで、さまざまな場面で登場します。けれども、ほんものの黒いランを見るチャンスはめったにありません。

つくば植物園では何種類か黒いランが偶然に咲き揃いましたので、ミニコーナーを作ってお目にかけます。同じ時期に数種類の黒い蘭が開花することはたいへん珍しく、当園でも初めてのことです。黒い蘭は6月25日頃までご覧いただけます。



カタセツム・テネブロスム *Catasetum tenebrosum*

全体の色という点では、もっとも黒に近いランといってよいでしょう。この種類は、ランとしては珍しく雄花と雌花が別です。株に強いストレスを与えると雌花になります。いま咲いているのは雄花です。雌花は緑色の貧弱な花で、とても同じ種とは思えません。おしべの先端を刺激すると花粉が飛び出すのも変わった特徴です。南米北部のベネズエラからペルーまで分布します。

コ克蘭 *Liparis nervosa*

日本にも黒い蘭が自生しています。和名はまさにそのまま、黒蘭です。花の色は個体によりまちまちで、黒に近いものから緑色のものまであります。寒さを嫌う植物で、太平洋側では茨城県が分布の北限です。常緑広葉樹林や竹林の下の暗い場所に点々と生えています。



花の見ごろ

6月25日頃まで

エンキクリア・コクレアタ *Encyclia cochleata*

中米のユカタン半島の付け根にある小国、ベリーズの国花です。英語で“ブラック・オーキッド”といえはこの種を指すことが多いのです。黒い蘭といっても花弁の1枚だけが黒いので、ちょっと名前負けの感じがします。アメリカ合衆国のフロリダ州より南、南米北部まで分布する着生植物です。



展示会場

教育棟

●本件についての問合せ●

独立行政法人 国立科学博物館 筑波実験植物園

〒305-0005 茨城県つくば市天久保 4-1-1 TEL:029-851-5159 FAX:029-853-8998